

二中だより

令和2(2020)年 4月15日
 国立市立国立第二中学校
 校長 黒田 宏一
 国立市富士見台3-30
 電話 572-2187

国立二中ホームページにも掲載：国立第二中学校へアクセス

3つの『感』に満ちた1年に！

こうちょう くらだ こういち
 校長 黒田 宏一

イギリスのある病院のナースステーションには、古くから1枚のポスターが掲示されているそうです。赤地のポスターには白い字で

「KEEP CALM AND CARRY ON」(落ち着いて行動しましょう)

と書かれています。第二次世界大戦当時、社会不安の広がるイギリス国民に対し冷静な対応を求めるために作成されたそうです。以後、国に起こる様々な困難に対してもこの言葉が希望のメッセージとなって国民を見つめているとのこと。そして今、世界中に大きな不安をもたらす新型コロナウイルス感染症との攻防では、その言葉が一層大きな意味をもって響いているようです。

一般にウイルスは、ウイルス単独では増殖できず、他の生物の細胞内に感染して初めて増殖することができる性質を持っています。また、1つの粒子が感染した細胞内で一気に数を増やして細胞から放出する特徴があります。その性質・特徴を知った上で自分がどう対応するかが大事です。新型コロナウイルス感染症については未だ不明な点もあるようですが、感染拡大が進んでいる現在、「密室・密集・密接」を避け、「外出を自粛」することが私たちの必要な行動として求められています。これは大変なことであり忍耐強く我慢しなければなりません。だからこそ「KEEP CALM AND CARRY ON」が自分を冷静にし、自分だけが大変なのではないと気付かせてくれる言葉として心に響いてきます。そんなことをイギリスから学んだ思いがします。

また、昨年度末から年度初めの2ヶ月に及ぶ臨時休業を経験し、生徒の皆さんが当たり前のように学校に集い、当たり前のように教育活動が実施されることがいかに幸福であるかを噛みしめています。本年度予定されている様々な活動・行事などについても変更や延期などを余儀なくされることと思いますが学校再開されたときに、その喜びを感じながら前向きにスタートしていきたいものです。

そこで、本年度の学校経営の重点を次のように決めました。

《 令和2年(2020)年度の学校経営の重点 》

1. 令和2年(2020)年度の重点目標

「実感」のある学び、「感謝」のある心、「感動」のある学び舎

2. 指導の柱(重点)

(1) 意欲を高める学習指導～「実感」のある学び

- ①全教職員の英知と創意工夫を結集し、主体的に学習に取り組む生徒の育成を目指す。
- ②学びの質を高めるため、授業改善を推進し、「基礎的な知識・技能」の習得に努める。
- ③「生徒主体の学習」を推進し、生徒の「学びを活用する力」の伸長を図る。

(2) 規範意識を高め、自他を敬う生活指導～「感謝」のある心

- ①率先して全教職員が、生徒の模範となる行動・教育活動の実践を行う。
- ②生徒一人一人に寄り添い、問題行動の未然防止を図る。
- ③特別の教科「道徳」の授業を要として教育活動全般を通じて心の教育の充実に努め、「感謝・思いやり」の心を育み、心の成長率NO.1をめざす。

(3) 互いを認め合う特別活動～「感動」のある学び舎

- ①全教員が力を合わせ学級経営、学年経営の充実に図り、温かな人間関係を構築する。
- ②限られた時間の中で、生徒が主体となって活動する学校行事、生徒会活動の充実に図る。
- ③学校教育の一環としての部活動等を通して、自主的・自律的運営力の育成を図る。

(4) 信頼される学校づくり

- ①校内研修の充実に図る(学校風土向上等、関係大学と連携した研修)。
- ②特別支援学級「A組」の円滑な運営と「交流及び共同学習」を推進する。
- ③特別支援教育の充実に図り、特別支援教室「かがやき」の円滑な運営を推進する。



始業式では、生徒の皆さんに本年度のキャッチフレーズとして

『3つの「密」を避けて、3つの「感」で満たす二中になろう！』

と訴えました。明るく希望をもって教育活動を進めることができるよう全力を尽くして参ります。保護者・地域の皆様には大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。